

参 考 資 料

○平成 19 年度需要見込関連表	1
○平成 17 年度の血漿分画製剤の需給状況	2
○平成 18 年度の血漿分画製剤の需給状況（4 月～12 月実績）	3
○アルブミン製剤の製造量等の推移（H17 年 7 月～H18 年 12 月）	4
○免疫グロブリン製剤の製造量等の推移（H17 年 7 月～H18 年 12 月）	5
○血液凝固第Ⅷ因子製剤の製造量等の推移（H17 年 7 月～H18 年 12 月）	6
○原料血漿確保実績（H16 年 4 月～H18 年 12 月）	7
○原料血漿価格（日米）の推移	8
○血漿分画製剤の自給率の推移（年次：供給量ベース）【実績】	9
○主な血漿分画製剤の自給率の推移（供給量ベース）	10
○アルブミン製剤の供給量と自給率	11
○免疫グロブリン製剤の供給量と自給率	12
○血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給量（遺伝子組換え型含む）と国内血漿由来 製剤の割合	13
○血液製剤の製造（輸入）実績報告集計表（H18 年 10 月～12 月・月別）	14

平成19年度需要見込関連表

種 類	換算規格	A	B	C	D=B+C	E	F=D-E	G
		H18年度 供給見込	H18年度末 在庫見込	H19年度製造 輸入見込量	H19年度 供給可能量	H19年度需要 見込量	H19年度末 在庫見込量	在庫量(ヶ月分)
アルブミン	25% 50ml 1瓶	3,255,500	961,700	3,236,800	4,198,500	3,259,200	939,300	3.5
乾燥人フィブリノゲン	1g 1瓶	2,500	1,100	2,300	3,400	2,400	1,000	5.0
組織接着剤	Cm ²	9,308,100	2,683,100	10,803,700	13,486,800	10,723,300	2,763,500	3.1
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位 1瓶	328,900	142,000	351,900	493,900	343,000	150,900	5.3
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含)	1000単位 1瓶	36,400	12,800	34,300	47,100	37,100	10,000	3.2
インヒビター製剤	延人数	10,000	6,300	14,500	20,800	13,700	7,100	6.2
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第ⅩⅢ因子	1瓶	137,300	43,200	130,200	173,400	117,200	56,200	5.8
トロンビン(人由来)	10000単位 1瓶	29,800	10,600	53,800	64,400	34,800	29,600	10.2
人免疫グロブリン	2.5g 1瓶	1,315,400	404,400	1,509,500	1,913,900	1,515,900	398,000	3.2
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位 1瓶	23,700	9,400	30,200	39,600	23,300	16,300	8.4
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍 1瓶	9,000	4,600	9,400	14,000	8,600	5,400	7.5
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位 1瓶	75,200	57,600	73,200	130,800	84,600	46,200	6.6
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位 1瓶	387,800	119,200	413,200	532,400	438,100	94,300	2.6
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位 1瓶	300	300	0	300	200	100	6.0
人ハプトグロビン	2000単位 1瓶	43,900	11,800	43,900	55,700	44,000	11,700	3.2
乾燥濃縮人CI-インアクチベーター	1瓶	630	200	700	900	460	440	11.5

平成17年度の血漿分画製剤の需給状況

製剤名	換算規格・単位	製 造 ・ 輸 入 量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		16年度	17年度
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	3,136,000 (102.9%) 3,048,800	1,374,900 (87.0%) 1,580,300	3,357,300 (99.3%) 3,380,300	50.2%	53.7%
乾燥人フィブリノゲン	1g	1,900 (95.0%) 2,000	1,900 (95.0%) 2,000	2,500 (125.0%) 2,000	100.0%	100.0%
組織接着剤	接着面積(cm2)	9,419,900 (81.7%) 11,529,100	3,665,900 (96.0%) 3,819,000	9,554,600 (98.5%) 9,695,700	40.7%	45.3%
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	322,400 (108.2%) 298,100	105,700 (102.3%) 103,300	291,000 (93.0%) 312,900	39.9%	39.3%
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	38,400 (102.4%) 37,500	38,400 (102.4%) 37,500	38,900 (113.7%) 34,200	100.0%	100.0%
インヒビター製剤	延べ人数(人)	15,700 (112.9%) 13,900	0 0	13,000 (91.5%) 14,200	0.0%	0.0%
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	161,100 (95.9%) 168,000	0 0	132,300 (89.9%) 147,100	0.0%	0.0%
トロンビン(人由来)	10000単位(瓶)	38,900 (109.6%) 35,500	38,900 (109.6%) 35,500	40,700 (119.7%) 34,000	100.0%	100.0%
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	1,347,200 (105.2%) 1,280,800	1,192,000 (107.0%) 1,114,300	1,398,900 (99.5%) 1,405,900	87.5%	88.6%
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	17,000 (73.0%) 23,300	600 (100.0%) 600	19,700 (96.6%) 20,400	2.7%	2.6%
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	1,900 (26.8%) 7,100	0 0	8,700 (96.7%) 9,000	0.0%	0.0%
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	72,100 (81.4%) 88,600	0 0	78,300 (88.5%) 88,500	0.0%	0.0%
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位(瓶)	402,300 (102.9%) 391,000	388,900 (103.2%) 377,000	398,600 (109.8%) 363,100	88.0%	94.9%
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	370 (37.0%) 1,000	370 (37.0%) 1,000	90 (23.7%) 380	100.0%	100.0%
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	45,500 (130.7%) 34,800	35,500 (136.5%) 26,000	44,000 (102.1%) 43,100	0.0%	46.7%
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	860 (286.7%) 300	0 0	540 (120.0%) 450	0.0%	0.0%

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。

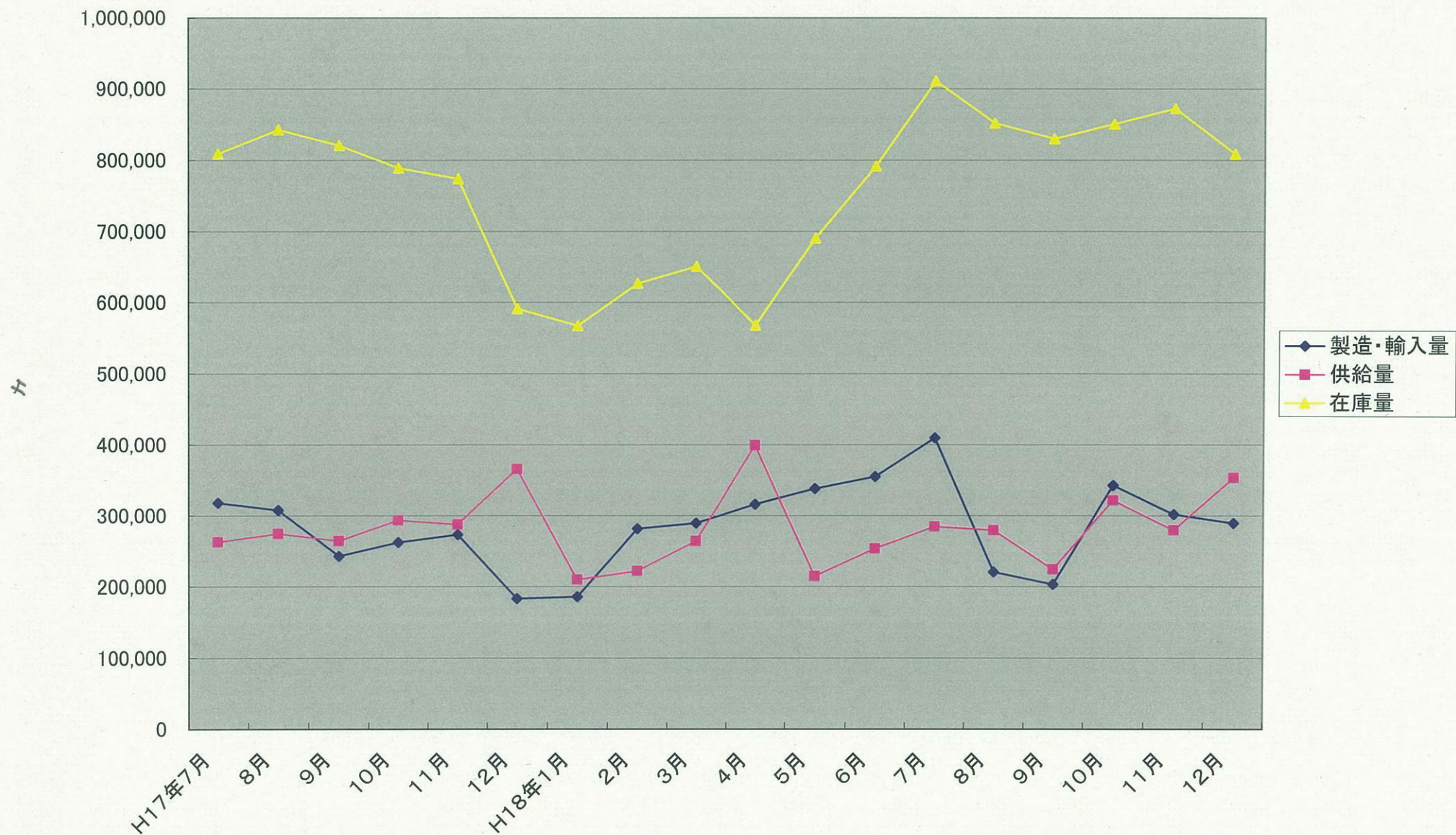
平成18年度の血漿分画製剤の需給状況(4月～12月実績)

製剤名	換算規格・単位	製 造 ・ 輸 入 量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		17年度	18年度 (上半期)
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	2,778,500 (82.9%) 3,353,100	1,615,600 (86.6%) 1,866,500	2,614,600 (80.3%) 3,255,500	53.7%	55.4%
乾燥人フィブリノゲン	1g	2,100 (67.7%) 3,100	2,100 (67.7%) 3,100	2,200 (88.0%) 2,500	100.0%	100.0%
組織接着剤	接着面積(cm2)	7,715,000 (80.5%) 9,581,500	4,206,400 (99.0%) 4,250,000	8,129,000 (87.3%) 9,308,100	45.3%	48.9%
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	195,500 (57.6%) 339,700	82,900 (63.9%) 129,700	242,000 (73.6%) 328,900	39.3%	35.4%
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	26,900 (71.7%) 37,500	26,900 (71.7%) 37,500	30,000 (82.4%) 36,400	100.0%	100.0%
インヒビター製剤	延べ人数(人)	10,200 (82.9%) 12,300	0 0	11,100 (111.0%) 10,000	0.0%	0.0%
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	93,200 (58.1%) 160,400	0 0	104,300 (76.0%) 137,300	0.0%	0.0%
トロンビン(人由来)	10000単位(瓶)	10,300 (34.8%) 29,600	10,300 (34.8%) 29,600	34,700 (116.4%) 29,800	100.0%	100.0%
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	1,088,100 (73.0%) 1,490,800	999,000 (73.5%) 1,359,900	1,140,500 (86.7%) 1,315,400	88.6%	91.1%
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	18,100 (83.0%) 21,800	600 (100.0%) 600	15,700 (66.2%) 23,700	2.6%	2.1%
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	8,700 (124.3%) 7,000	0 0	7,200 (80.0%) 9,000	0.0%	0.0%
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	57,800 (50.8%) 113,800	0 0	61,700 (82.0%) 75,200	0.0%	0.0%
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位(瓶)	329,600 (96.8%) 340,600	317,900 (96.7%) 328,600	324,800 (83.8%) 387,800	94.9%	96.4%
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	640 (213.3%) 300	640 (213.3%) 300	200 (66.7%) 300	100.0%	100.0%
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	21,700 (52.7%) 41,200	21,700 (52.7%) 41,200	33,100 (75.4%) 43,900	46.7%	100.0%
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	340 0	0 0	430 (68.3%) 630	0.0%	0.0%

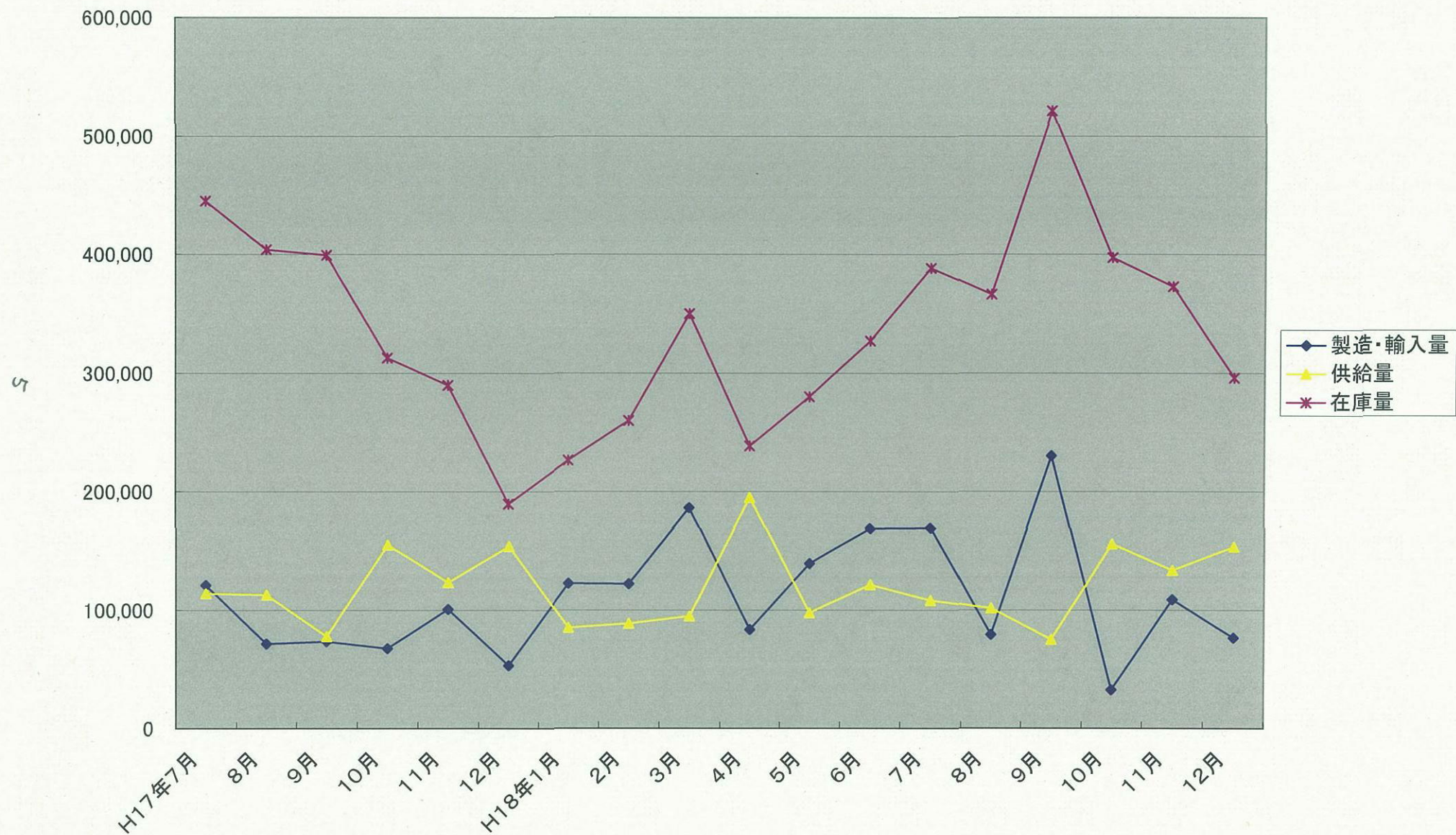
注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。

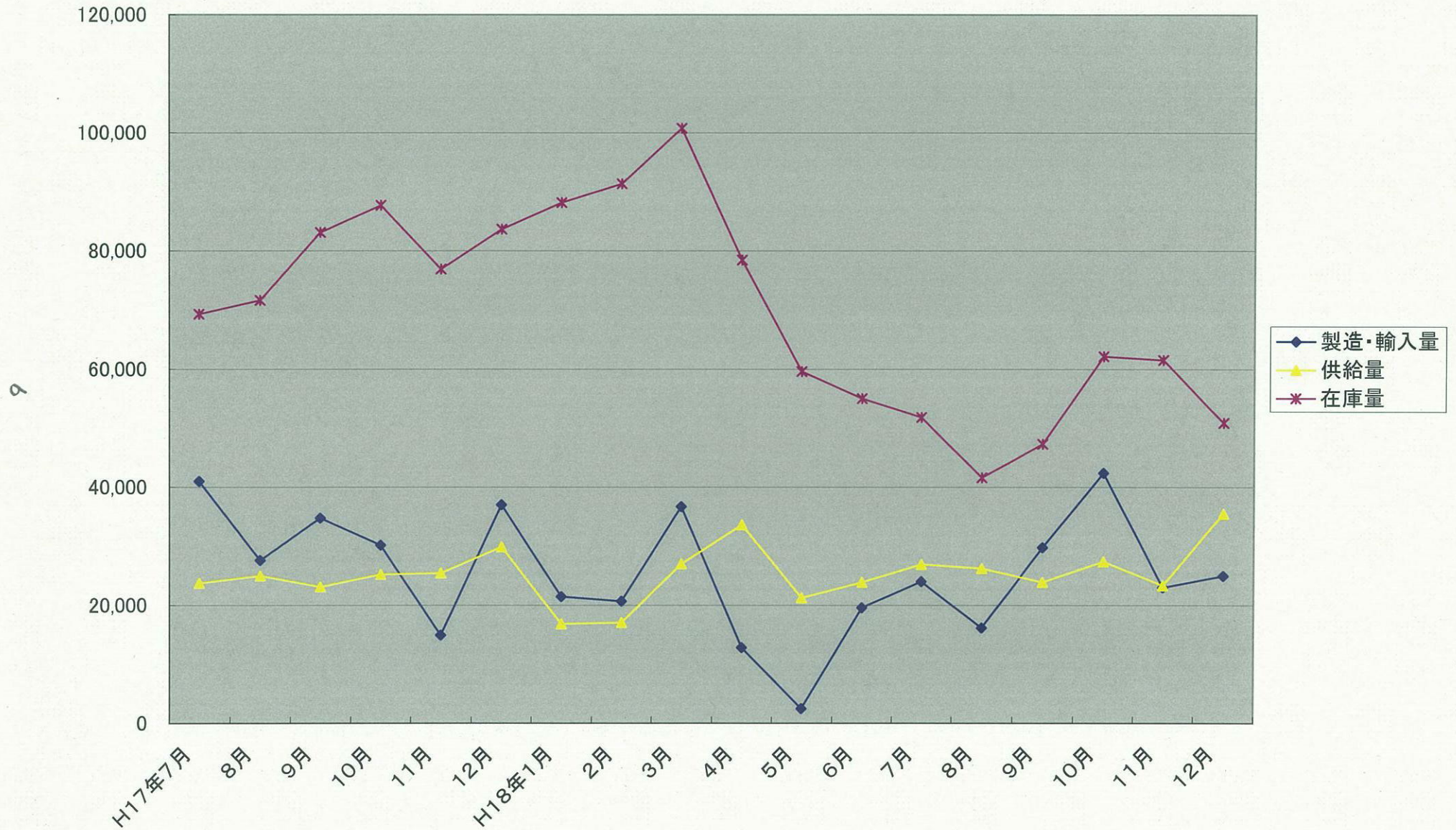
アルブミン製剤の製造量等の推移



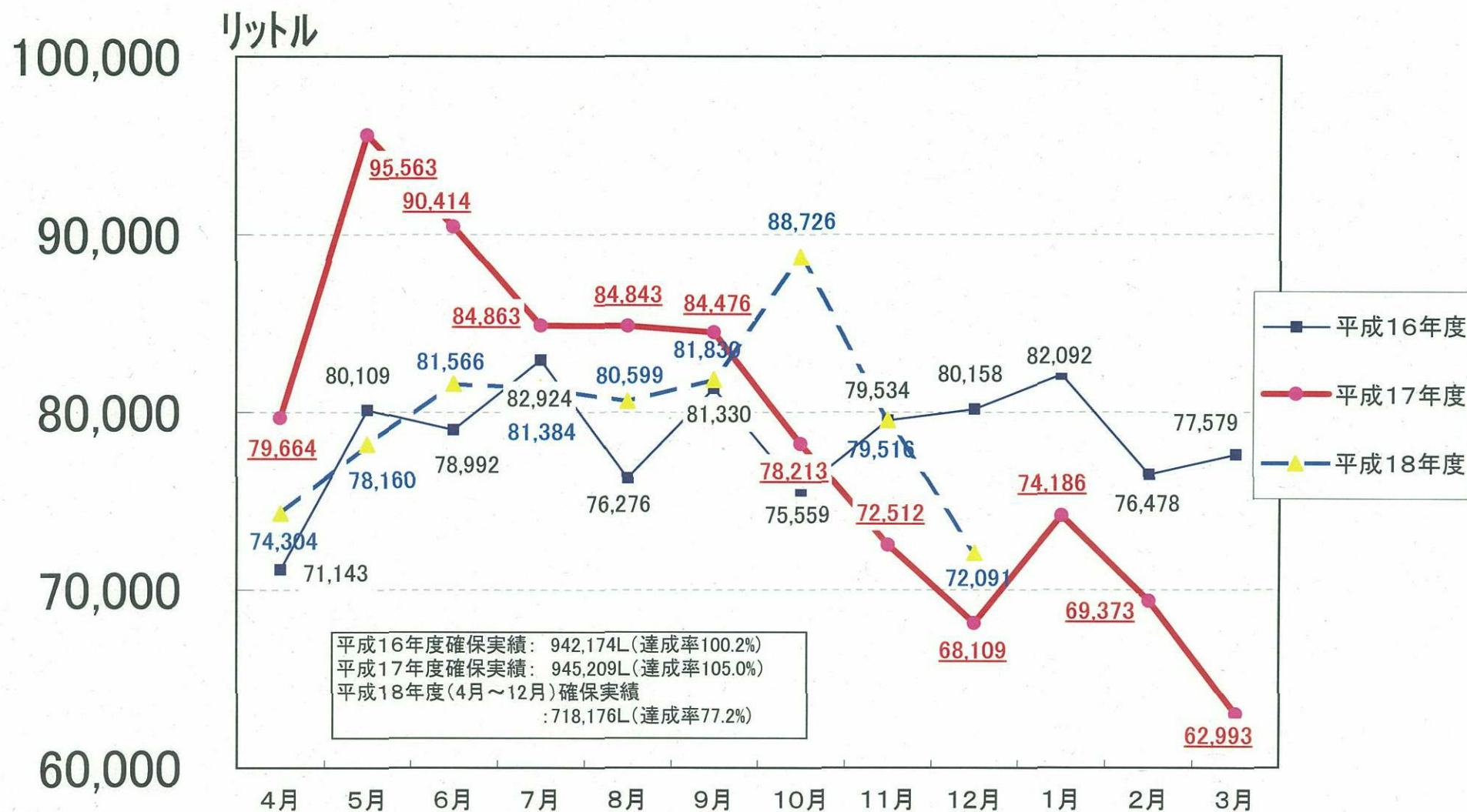
免疫グロブリン製剤の製造量等の推移



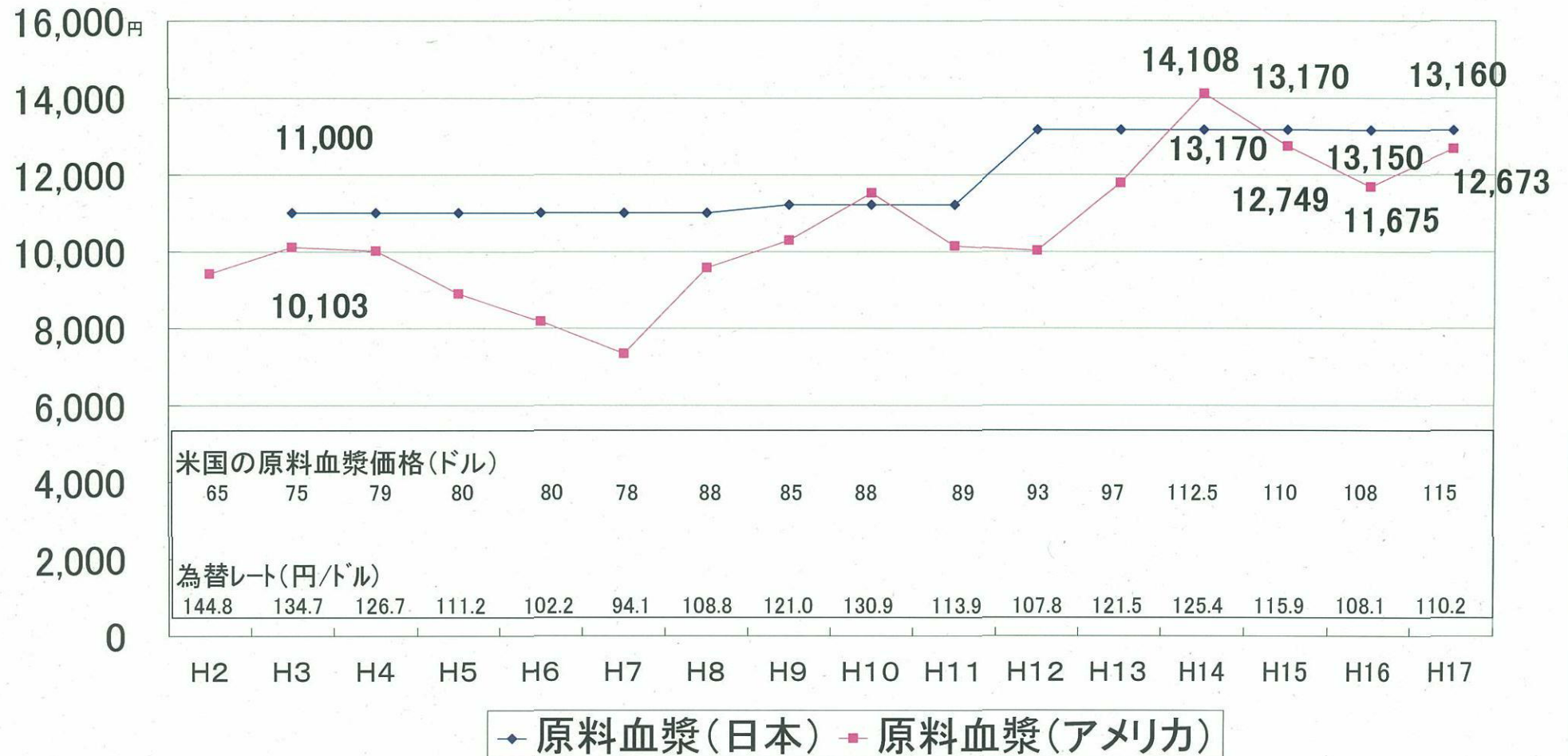
血液凝固第Ⅷ因子製剤の製造量等の推移



原料血漿確保実績(平成16年4月～平成18年12月)

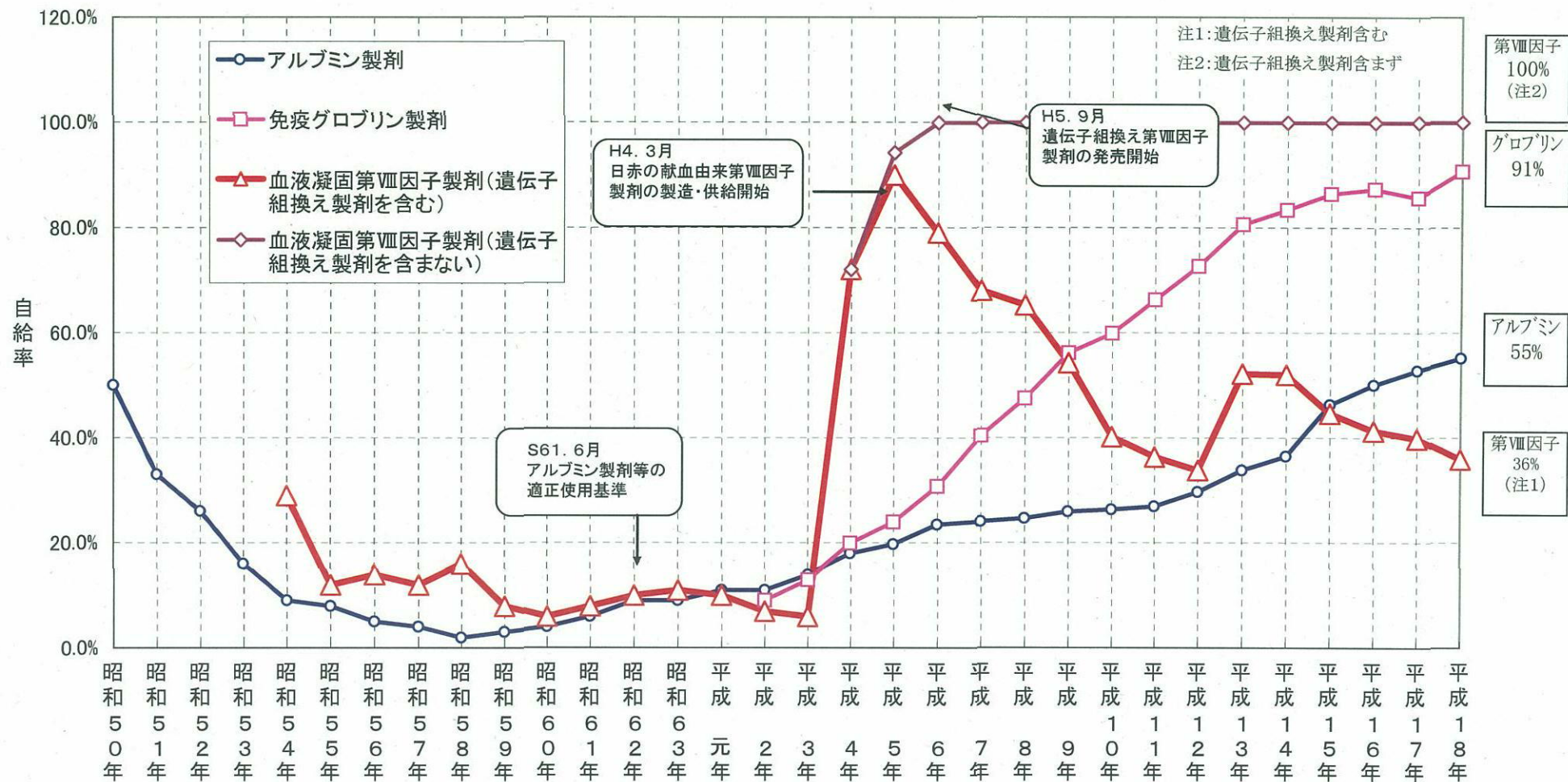


原料血漿価格(日米)の推移

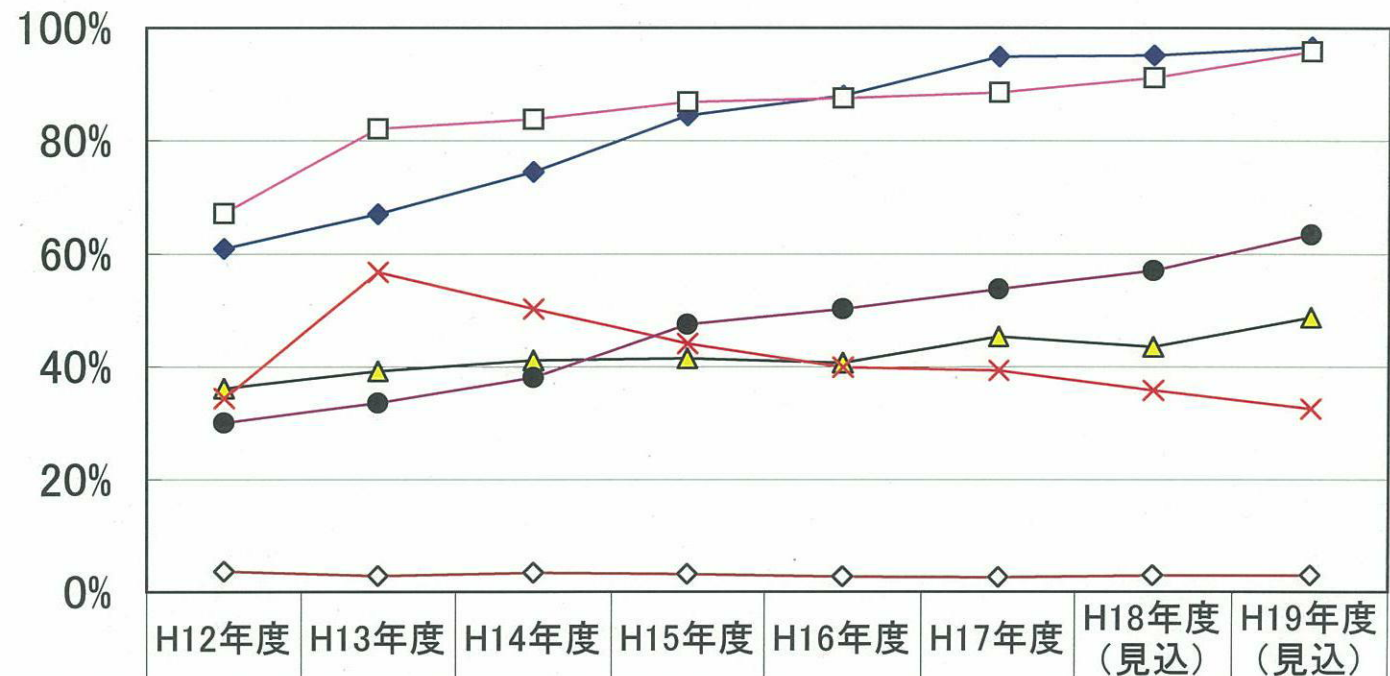


米国における原料血漿価格はThe Plasma Fractions Market in the United States 2005より
 (The Marketing Research Bureau Inc)
 為替レートは IMF World Economic Outlook の1997年10月版及び2006年10月版の指標を使用。

血漿分画製剤の自給率の推移 (年次:供給量ベース)



主な血漿分画製剤の自給率の推移（供給量ベース）



◆ 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	60.9%	67.0%	74.5%	84.5%	88.0%	94.9%	95.1%	96.6%
□ 人免疫グロブリン	67.1%	82.1%	83.8%	86.9%	87.5%	88.6%	91.2%	95.8%
▲ 組織接着剤	36.2%	39.2%	41.1%	41.5%	40.7%	45.3%	43.5%	48.8%
✕ 血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え製剤を含む)	34.4%	56.7%	50.2%	44.1%	39.9%	39.3%	35.9%	32.5%
● アルブミン	30.1%	33.6%	38.1%	47.5%	50.2%	53.7%	57.0%	63.4%
◇ 抗HBs人免疫グロブリン	3.6%	2.8%	3.4%	3.2%	2.7%	2.6%	2.9%	2.9%

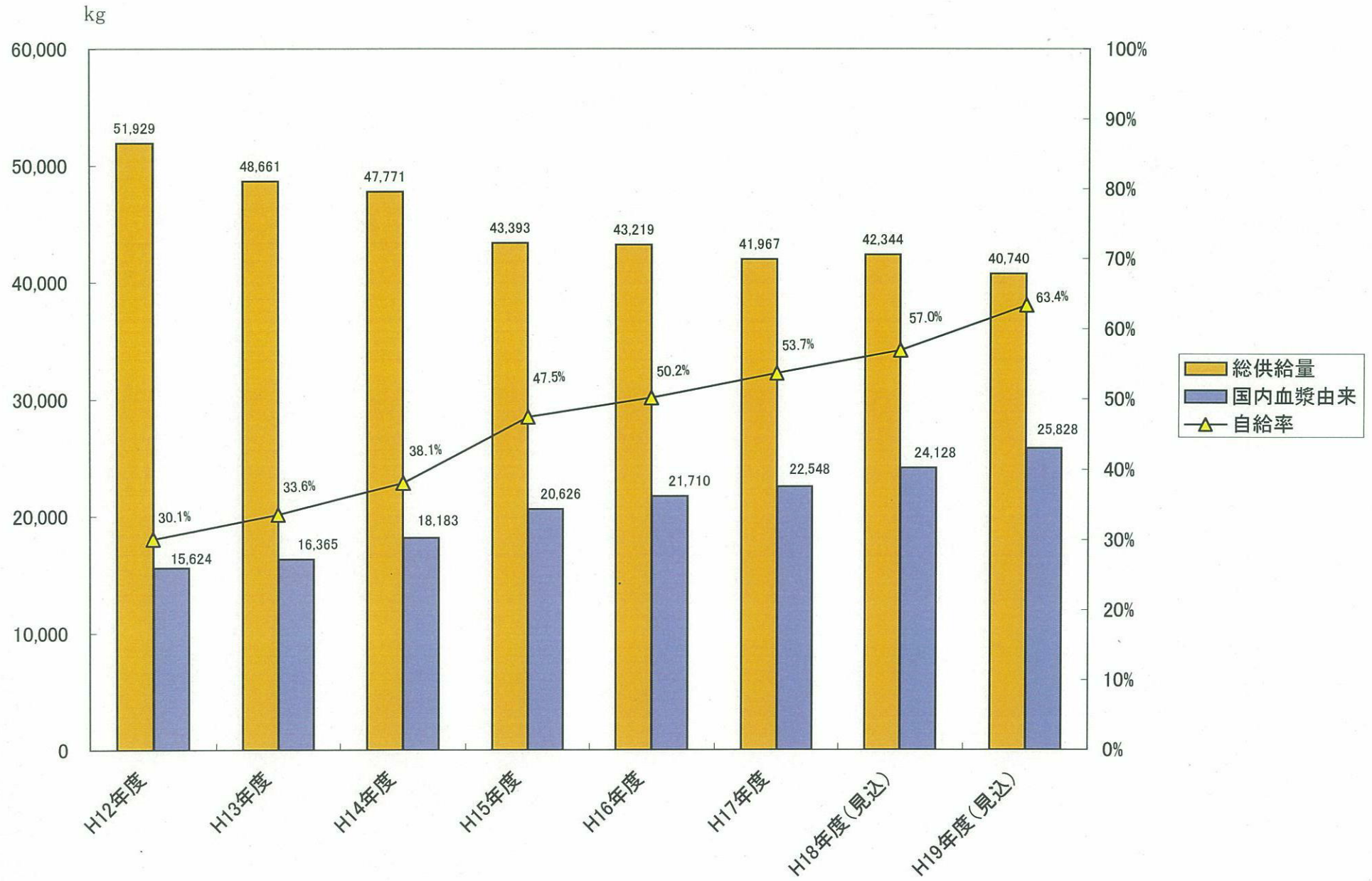
自給率100%のもの

乾燥人フィブリノゲン、血液凝固第Ⅷ因子(血液由来に限る)、乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)、トロンビン、乾燥濃縮人活性化プロテインC、人ハプトグロビン(見込)

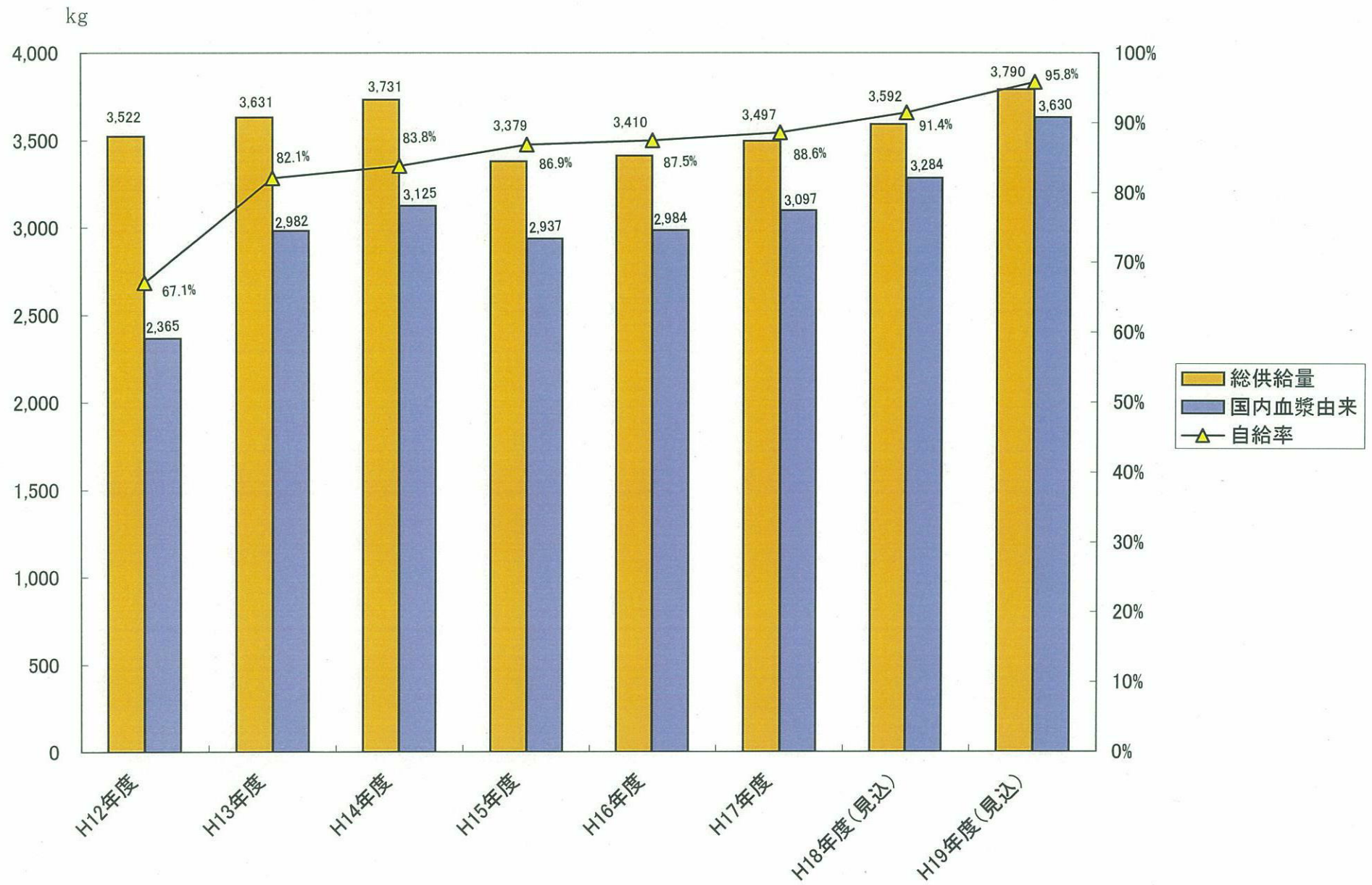
自給率0%のもの

インヒター製剤、乾燥濃縮血液凝固第ⅩⅢ因子、乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン、抗破傷風人免疫グロブリン、乾燥濃縮人CI-インアクチベーター

アルブミン製剤の供給量と自給率

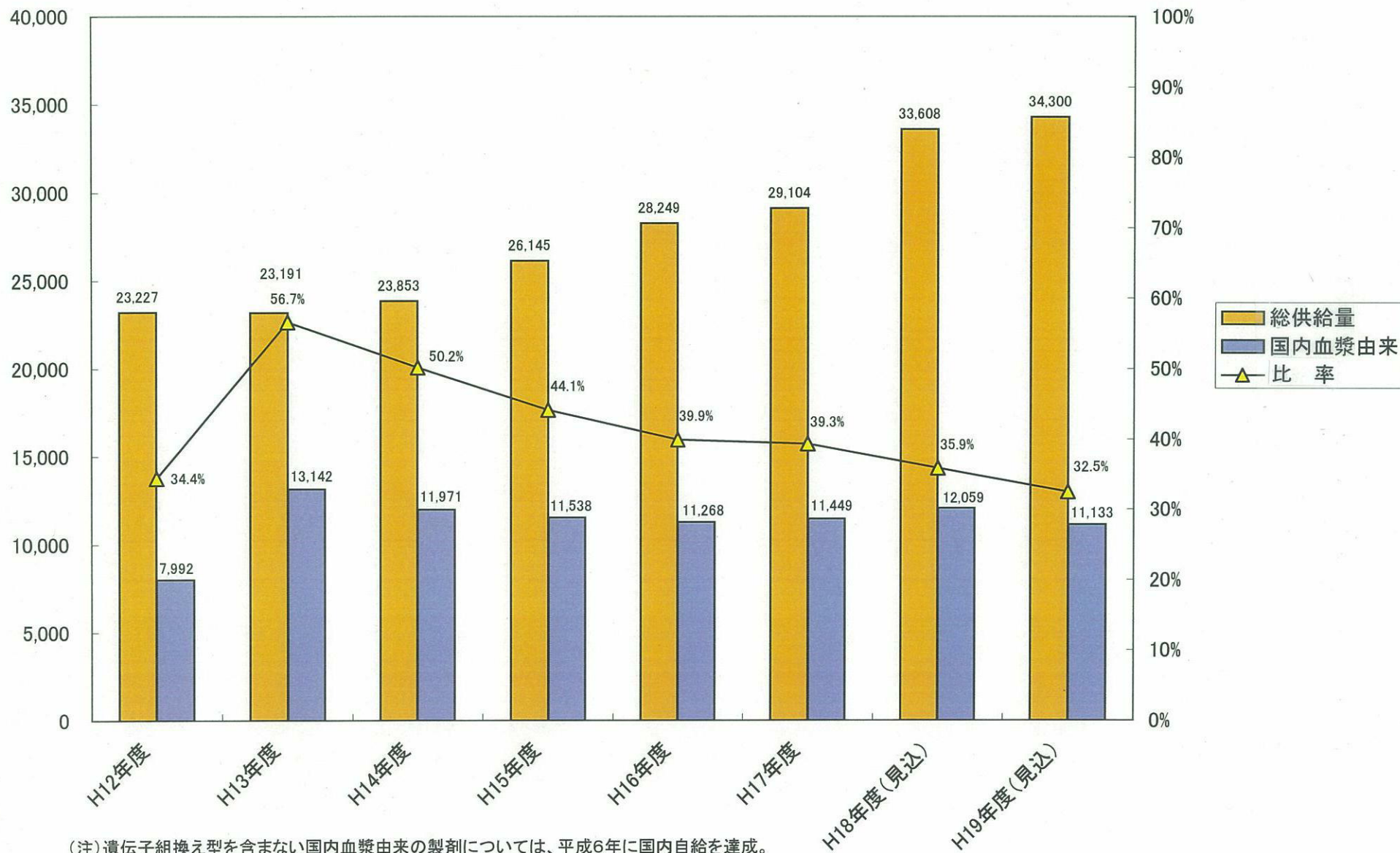


免疫グロブリン製剤の供給量と自給率



血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給量(遺伝子組換え型含む) と国内血漿由来製剤の割合

万単位



血液製剤の製造(輸入)実績報告集計表(平成18年10月分)

	換算規格・単位	前月の末日における血液製剤の種類ごとの在庫量 (本)	製造及び輸入した血液製剤の種類ごとの量 合計(本)		供給した血液製剤の種類ごとの量 (本)	当月の末日における血液製剤の種類ごとの在庫量 (本)
				うち国内原料由来		
アルブミン	25%50ml(瓶)	829,600	343,100	210,600	322,000	850,500
乾燥人フィブリノゲン	1g	1,200	0	0	200	1,000
組織接着剤	接着面積 (cm2)	2,074,300	1,022,200	647,100	869,800	2,226,600
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位 (瓶)	47,300	42,400	13,900	27,400	62,100
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位 (瓶)	9,900	0	0	3,100	6,800
インヒビター製剤	延べ人数 (人)	2,500	1,100	0	900	2,700
乾燥濃縮血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	33,300	13,100	0	10,700	35,700
トロンビン(人由来)	10000単位 (瓶)	23,400	3,700	3,700	4,900	22,200
人免疫グロブリン	2.5g瓶 (瓶)	521,400	32,600	23,700	155,600	397,400
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位 (瓶)	7,500	1,300	600	1,500	7,200
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	3,100	1,100	0	800	3,300
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位 (瓶)	52,700	0	0	6,400	46,400
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位 (瓶)	97,100	10,000	10,000	30,300	76,800
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位 (瓶)	440	0	0	0	440
人ハプトグロビン	2000単位 (瓶)	16,000	0	0	3,400	12,500
乾燥濃縮人C1-インアクティベーター	500倍 (瓶)	440	0	0	40	400

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

また、月末の数量は在庫品の毀損、期限切れ廃棄等を調整後のものである。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。

血液製剤の製造(輸入)実績報告集計表(平成18年11月分)

	換算規格・単位	前月の末日における血液製剤の種類ごとの在庫量 (本)	製造及び輸入した血液製剤の種類ごとの量 合計(本)		供給した血液製剤の種類ごとの量 (本)	当月の末日における血液製剤の種類ごとの在庫量 (本)
				うち国内原料由来		
アルブミン	25%50ml(瓶)	850,500	302,200	151,700	280,000	872,400
乾燥人フィブリノゲン	1g	1,000	0	0	200	800
組織接着剤	接着面積(cm2)	2,226,600	729,300	615,200	1,048,000	1,907,900
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	62,100	23,000	14,100	23,300	61,500
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	6,800	1,600	1,600	2,300	6,100
インヒビター製剤	延べ人数(人)	2,700	400	0	1,200	1,900
乾燥濃縮血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	35,700	17,900	0	10,400	43,200
トロンビン(人由来)	10000単位(瓶)	22,200	0	0	3,200	19,000
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	397,400	108,800	103,400	133,300	372,900
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	7,200	0	0	1,600	5,500
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	3,300	0	0	700	2,600
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	46,400	0	0	4,400	42,000
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位(瓶)	76,800	9,300	9,300	38,700	47,400
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	440	0	0	0	440
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	12,500	0	0	3,700	8,800
乾燥濃縮人C1-インアクティベーター	500倍(瓶)	400	0	0	40	370

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

また、月末の数量は在庫品の毀損、期限切れ廃棄等を調整後のものである。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。

血液製剤の製造(輸入)実績報告集計表(平成18年12月分)

	換算規格・単位	前月の末日における血液製剤の種類ごとの在庫量(本)	製造及び輸入した血液製剤の種類ごとの量 合計(本)		供給した血液製剤の種類ごとの量(本)	当月の末日における血液製剤の種類ごとの在庫量(本)
				うち国内原料由来		
アルブミン	25%50ml(瓶)	872,400	289,700	157,800	353,900	808,100
乾燥人フィブリノゲン	1g	800	0	0	300	500
組織接着剤	接着面積(cm2)	1,907,900	995,800	534,700	1,154,200	1,749,000
血液凝固第Ⅳ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	61,500	25,000	8,800	35,500	50,900
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅲ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	6,100	4,100	4,100	4,000	6,300
インヒビター製剤	延べ人数(人)	1,900	3,200	0	1,500	3,500
乾燥濃縮血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	43,200	0	0	17,200	26,100
トロンビン(人由来)	10000単位(瓶)	19,000	0	0	4,300	7,200
人免疫グロブリン	2.5g(瓶)	372,900	76,500	76,500	153,400	295,900
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	5,500	8,900	0	2,000	12,400
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	2,600	4,300	0	1,000	6,000
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	42,000	0	0	7,200	34,700
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位(瓶)	47,400	66,700	66,700	41,700	72,400
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	440	0	0	0	440
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	8,800	0	0	5,400	3,400
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	370	0	0	80	290

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

また、月末の数量は在庫品の毀損、期限切れ廃棄等を調整後のものである。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。